

ターニングポイント

商店街再興への転換点

どこにでもあるものではなく、ここにしかないもの。
「らしさ」を生かした点(店)を面(街)へと広げていく。
時代のニーズを踏まえ、次代への可能性を求めて…
街の再興に向け、これからのあるべき姿を追う。



Kenji Suyama



←店主の経営相談に親身にアドバイスする陶山さん

「消費型社会」から「循環型地域」へ / 福智町商工会経営指導員 陶山 賢二さん

商店街を取り巻く環境が非常に厳しい中で、こうすればよくなる、という特効薬はありません。商店・住民・行政が商店街の価値を認識し、同じ方向を向いて、自分たちのまちづくりを進めていくことが必要です。かつて商店街は地域経済が循環する原動力としてのポンプ役を果たしていました。しかし今は大規模店が地域の所得を地域外へと吸い出しています。大量生産・大量消費、大量廃棄という「消費型社会」を「循環型社会」へ転換することが、今後求められる社会の方向性です。地元で仕入れ、売り上げが地元にとどまり、地元で使われる…。「地域内循環」は、経済と活力の両面で最も理想的な姿です。このような新しい地域の姿を地域とともに、地元で根付いたまちづくりによって目指していくことが、今後の地域経済の発展と商店街再興のカギを握っています。

失った街は二度と戻らない

商店街の再生を目指すうえで、見失ってはならないのが「商店街らしさを壊さない」こと。商店街ならではの地域性や風情を守り、それぞれの店が持つ個性と商店街にしかない魅力を最大限に引き出していくことが大切です。

商店街という存在をなくしてしまつた地域は、失つた後に、なくしたものの大きさに気づきます。失つた街はもう二度と戻ることはありません。商店街は財産であり貴重な資源だという観点と、歩んできた歴史やそこに詰まった人々の想いも含めて「失つてはならない街」なのだという意識を商店と住民が共有しなければ、街の灯を再燃することはできません。

新しい豊かさの先へ

人とのつながりの再構築による地域

コミュニティの再生は、現代の地域社会が抱えるさまざまな問題に立ち向かうための大きなカギだといわれています。高度成長期、商店街全盛時代、すべてが順調なときには、地域も人も強くつながっていました。これまで商店街は、介護や福祉・子育て・教育・防災・防犯・環境など、多面にわたって地域生活を支えてきました。商店街がなくなれば、商品やサービス提供以外の役割も果たせなくなり、住民は地域生活における一つの大きな豊かさの質感を失ってしまいます。物質的な豊かさではなく、人との豊かなかかわり合いによる「心の豊かさ」こそが、次代に求められる新しい価値観です。そのことは、これから社会が進むべき方向の先に「商店街」があることを示しています。

住み、育ち、学び、働き、交流する地域コミュニティの拠点として、商店街だからこそ果たせる役割があります。

魅力のオンリーワン店を目指して / 福智町商工会商業部会長 宇野 等さん

Hitoshi Uno



→お茶の香りと笑顔を届ける宇野さん(宇野茶舗)

先人から受け継いだ商店街を守っていくには、これからの時代、きれいなことではやっていけませんし、あきらめてしまえばそれまでです。他人任せにせず、自分たちの街を再生させる。自分たち次第で再生できる。という強い信念で取り組む必要があります。魅力ある商店街には、魅力ある店舗が不可欠です。これからは個性が求められる時代。接客や品そろえなど、この店にしかないという「オンリーワン性」で生き抜かなければなりません。また、商店街は身近な地域のライフスタイルがつかみやすいので、ターゲットやコンセプトもより明確になります。そのような「個性」と「利点」を前面に出すことで商店の魅力も飛躍的に向上します。「オンリーワン店」が「点」でなく「面」となれば、集まれば、きっと金田商店街は生まれ変わると信じています。

Shigeki Hidari



←配達で他店の品もそろえる左さん(ライブヒダリ)

サービスを商品に加えた真の「個」売り業で / ASネット会長 左 重喜さん

地域商店のメリットは、住民ニーズに柔軟に答えられること。小売業は「個」に対して売る「個売り業」としての強さがあります。特に高齢者は価格だけではなく、アフターサービスも含めてお店を選んでいただける傾向が強くなっています。人手をかけた低コストの流通とは違い、地域商店は、サービスを商品に加えて満足を得る。という、大型店にはできない魅力を持っています。かつての赤池商店街としての姿はなくなりましたが、平成3年に発足した「ASネット」では、電話一本で加盟店内の商品を届ける「動く商店街」としてのサービスを続け、地域のみならず喜んでいただいています。地域商店は「個に売る」原点に立ち、目先の利益重視でなく、地域のみなさんの必要とすることを地道に実現していく、小さな積み重ねが大切なのだと思っています。

今ある商店街を経済的価値の次に来る「新しい価値観をはぐくむ場所」「人生の豊かさを感じさせてくれる場所」として、この町で暮らす誰もが認識し、行動に移すとき、そこに、かけがえのない「つながり」が生まれるはずだ。



「ASネット」の配達サービスではケースに応じて電球の取り換えなども行っている。加盟8店舗が食材から家電まで多種の商品を一度に配達する画期的なシステムで地域に定着。高齢者世帯をはじめ、子育て世帯のニーズも満たし、将来さらなる需要が予想されている。

金田商店街の伝統行事
地域繁栄願う
金田恵比寿

金田商店街の年の瀬の伝統行事として受け継がれている「金田恵比寿祭り」。毎年12月2日から2日間、金田商店街近くの金田菅原神社境内で開かれます。今年一年の感謝の気持ちを込めて、主催者と来場者が互いに「打ち込み」で繁栄を祈願。商売繁盛にとどまらず地域の発展と家内安全を願ったこの行事は、商店街と地域の心のつながりを映し出しています。

金田系びす



願いを込めた打ち込み

●政策の柱となる商店街活性化

「商店街の活性化」は、国や地方自治体の商業政策の柱の一つに位置づけられています。政府与党が政策項目に「中心市街地・商店街の活性化」掲げるほか、経済産業省および中小企業庁は、全国の商店街の苦境と地域住民から寄せられる「地域コミュニティの担い手」としての期待の高まりを踏まえ、商店街の意欲ある取り組みを支援する措置を抜本的に拡充する方針を打ち出しています。今年7月には「地域商店街活性化法」が成立。9月に答申された福智町まちづくり計画

(総合計画)の実施計画

画の中でも「活力ある商店街」について項目化され、現状と目標が盛り込まれています。

